

熊本市の防災教育

熊本市立城西小学校
教頭 村上 陽明

1

熊本市の特徴的な取組

- ・ 熊本市防災教育副読本「つなぐ」
- ・ 熊本市緊急連絡アプリ「コンタくん」
- ・ 企業との連携による防災教育
- ・ 消防局との連携（体験型・ICT 防火防災学習）
- ・ 地域人材の活用
- ・ 防災給食
- ・ くまもとアプリ

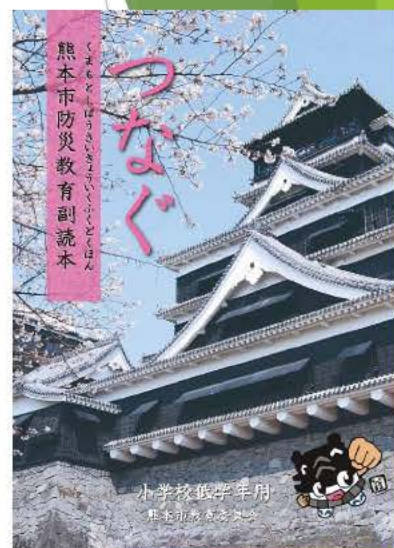
熊本市防災教育副読本「つなぐ」

- ▶平成30年3月配布
- ▶低学年用、中学年用、
高学年用、中学生用



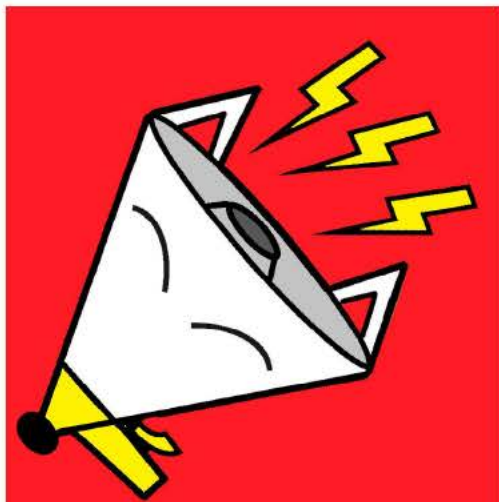
熊本市教育委員会
平成30年3月

- ▶児童用タブレットを
使って当時の様子を動画視聴できる。(電子ブック)



熊本市緊急連絡アプリ「コンタくん」

※R5年度から小学校に導入済



- ▶不審者対応
- ▶災害時連絡用
- ▶熱中症対応
- ▶緊急児童対応 など
(※学校独自で設定)

実践的な避難訓練の実施を！

- ・ 予告なし、半分予告、予告あり
- ・ 管理職、養護教諭不在の想定
- ・ 余震が発生する想定
- ・ 避難経路が通れない想定
- ・ 停電で放送が使えない
- ・ 放送訓練を毎月安全の日に行う（集合なし）
- ・ 安否確認の工夫、引き渡し方法の確認
- ・ けが人の想定（軽傷、重症、過呼吸など）

※避難訓練計画に**予想される子どもの反応**を書く。
短くてもいいので**振り返り**をする。

この避難訓練で大丈夫？
二次避難場所はどこ？
防災バッグはある？

7



安全の日にはできることは？

- 職員による安全点検
(危険箇所、AED、防犯器具)
- 子どもたちによる安全点検
(例: 掃除時間などに放送を入れて危険な場所や物を探す)
- 保護者による安全点検
(参観時に心配な危険箇所について意見をもらう等)
- 放送訓練(ショート)
(予告なしで休み時間などに短いシェイクアウト訓練)
- 安全教育の取組
(各教科、副読本「つなぐ」、交通安全、防災など)



Pepperによる防災学習（企業との連携）



体験型防火防災学習（消防局との連携）



ロープワーク 他

ICT防火防災学習（消防局との連携）



オンライン
防災学習



語り部活動（地域人材の活用） （AR・オンラインの活用）



防災給食 11月5日 津波防災の日

学校給食を通じて、家庭でも備蓄しやすい食材を使用した給食の献立を提供し、栄養教諭などから災害時の食事について栄養指導も行う。

◆ 今日のこんだて ◆

- ・むぎごはん
- ・ぎゅうにゅう
- ・備蓄ツナカレー
- ・切干大根のナムル
- ・もも缶



職員研修



HUG

(避難所運営ゲーム)

平時に備えることが大事！
ハード面とソフト面の充実を
空振りはOK、見逃しはNG



熊本城
飯田丸のように

防災教育を通じて
大災害（困難）にも耐えうる
たくましいこどもたちに！